



学校評価集計報告

寒冷の候、皆様方におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に御理解、御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様には、12月に学校教育目標「夢をもち、ともに輝く子」の具現のための本校の教育活動について、アンケート形式で評価していただきました。貴重な御意見をいただき、深く感謝申し上げます。その結果が集計できましたのでお知らせいたします。なお、同様のアンケートを教員、児童にも行っています。今回の学校だよりでは、今年度の重点内容に関わる項目についての結果をお知らせします。

◎ かんがえ合う子

- ・「どの教科も、最後まであきらめずに学習に取り組んでいる【児：91%】」
- ・「自分の学習を振り返って、次に生かそうとしている【児：93%】」
- ・「進んで学習に取り組んでいる【保：64%】」

学習への取り組みに対する保護者の評価は昨年度より低くなっている。

◎ ささえ合う子

- ・「将来になりたい自分をもっている【児：88% 保：65%】」
- ・「友達や地域の方に進んで挨拶している【児：93% 保：71%】」
- ・「困ったとき、自分の力で解決しようとしている【児：89% 保：68%】」

子供たちは、「になりたい自分」に向かい、成長を実感できるようになってきている。困ったときや悩んでいる時に、どのように解決したらよいか、自分で考えて行動できるようになってきている。

◎ いきいきし合う子

- ・「目標を持って、運動や行事に取り組んでいる【児：86% 保：71%】」
- ・「健康に気を付けて、行動している【児：91% 保：76%】」
- ・「安全に気を付けて落ち着いて行動している【児：94% 保：85%】」

目標を持って、進んで運動したり行事に取り組んだりしている児童が多い。

☆ 来年度に向けて

学校の取り組みには、保護者の皆様から感謝の声を数多くいただきました。保護者の皆様の御理解と御支援には本当に深く感謝いたします。皆様からいただいた御意見を参考に、来年度に向けて次の点について取り組んでいきたいと考えています。

- 児童が、進んで学習に取り組めるように「学びたい」「取り組みたい」と感じるような題材の選定、自分自身の学習を向上させるための、学習を調整する力の育成に取り組む。
- 「深い子供理解に基づいた生徒指導」と「発達支援教育の理念」を教育の基盤として、全ての教育活動を通して、「いじめが起きにくい・いじめを許さない学校づくり」に取り組む。
- あいさつの大切さや必要性を理解し、自分から進んで挨拶をすることができるように、KAP(笠井あいさつプロジェクト)に取り組む。
- 夢や目標に向かって、進んで努力を続けようとする心の育成を図る。
- 命を大切に、安全や安全に気を付けて生活することができるようにする。